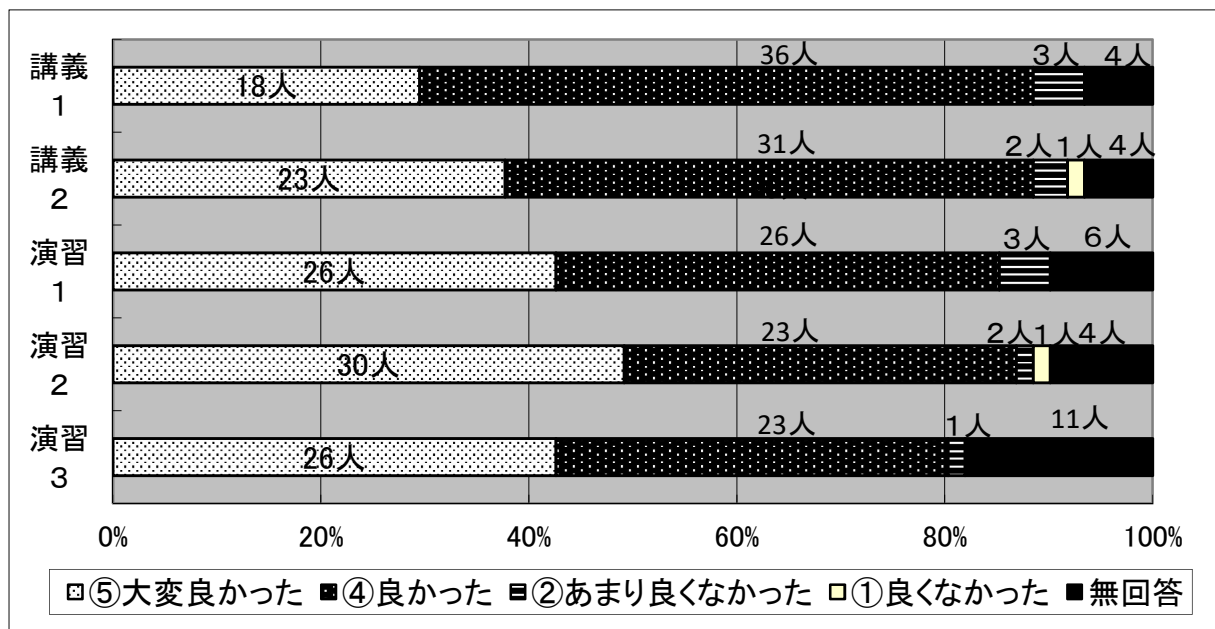


# 令和元年度長野県福祉サービス第三者評価調査者継続研修 アンケート集計結果

アンケート回収人数 61人/64人 (回収率95.3%)

## 1 各プログラムの感想

科目	④大変よかった	③どちらかといえばよかった	②どちらかといえばよくなかった	①よくなかった	無回答
	実数(人)	実数(人)	実数(人)	実数(人)	実数(人)
	比率(%)	比率(%)	比率(%)	比率(%)	比率(%)
講義1 「第三者評価の現状と課題」	18 29.5%	36 59.0%	3 4.9%	0 0.0%	4 6.6%
講義2 「福祉サービス第三者評価基準(救護施設版)について」	23 37.7%	31 50.8%	2 3.3%	1 1.6%	4 6.6%
演習1 「保育所の評価についての振り返り」	26 42.6%	26 42.6%	3 4.9%	0 0.0%	6 9.8%
演習2 「訪問調査前の情報整理について」	30 49.2%	23 37.7%	1 1.6%	1 1.6%	6 9.8%
演習3 「評価コメントのあり方について」	26 42.6%	23 37.7%	1 1.6%	0 0%	11 18.0%



## 自由意見

### 講義1「第三者評価の現状と課題」

#### 大変良かった

- ・最近の現状がよくわかった。各分野について動向の理解が深められました。
- ・現状がわかりやすい。現状と今後の方向性がわかった。
- ・もう少し時間をかけて説明していただきたかった。
- ・数値化する事の大事さを実感した。説明にも図等の必要を問いたい。
- ・県の状況が全国からもうかがえた。全国的にベスト8頑張っていると感じる。
- ・日頃全く係わりなくすごしていますが、世の中は動いていると感じ、課題は山積だと思える。東京都のように費用を県が保障すべきだと思う。

#### 良かった

- ・現状が理解できた。県の現状が知ることができた。流れが理解できた。
- ・最新の情報収集の場となりました。今後の方向性と問題点が理解出来た。
- ・調査件数少ないので再認識。視野が狭くなっていた。
- ・もう少し掘り下げた内容が聞きたかったです。説明が早い。
- ・岡田先生の評価事例の講義をもっと聞きたいです。
- ・社会福祉の動向について、ポイント、視点が明示されわかりやすかった。
- ・常に第三者評価の現状やニーズ、課題は、統計的にも把握していく必要があると思う。
- ・昨年からはじめたところなので、わからないところが多く、むずかしかったが、国の流れが少し理解できた。
- ・制度の進行、進捗状況がアッという間に過ぎてしまっていることがよくわかった。もっと情報を収集するように自ら気をつけていきたいと思いました。
- ・昨年の評価機関の撤退等があり、評価機関について考えることが多々あった。調査者としては、どこかの機関に所属する必要がある、悩ましい問題である。

#### あまり良くなかった

- ・ことばが多くて、ポイントがつかみにくかった。

### 講義2「福祉サービス第三者評価基準(救護施設版)について」

#### 大変良かった

- ・学びになりました。知識がなかったので知る事が出来た。
- ・救護施設について知ることができた。要点など理解できた。
- ・救護施設の考え方、留意点等の理解が深められました。
- ・救護施設は、措置であることを常に念頭におくことが重要。
- ・短時間でしたが、救護施設を予定しているので、勉強になりました。
- ・県内7ヶ所、施設があること。初めてお話をお聞きしましたので、勉強になった。障害と重なる部分が多いので、再度学ばなければと思う。
- ・評価基準ガイドラインでの内容や視点箇所が減ったことで、評価者が「楽になったのではない」と教えて下さった。評価項目が少なくなったことで対象となる人をよく見、よく聞き、よく感じられるようにがんばります。

### 良かった

- ・未だ評価に行ったことはありませんが、繰り返し勉強していきたい。
- ・はじめてなので、参考になった。今後の参考にしていきたいと思う。
- ・救護施設に特化されわかりやすかった。調査をやってみたいと思いました。
- ・新しいガイドラインができ、ポイントが理解できた。
- ・救護施設の調査が入っているので役に立ちました。
- ・今後の必要性や措置入所を考える良い機会になった。
- ・共通評価基準での救護施設の留意点について解った。
- ・救護施設は何年か前に関わったが、新たなガイドラインで勉強になった。
- ・評価を行なった事がなく、理解しにくかったが、わかりやすい説明であり良かった。

### あまり良くなかった

- ・資料を読むのと一緒だった。

### 良くなかった

- ・実際に勤務している方に、救護施設の法的位置、使命、国からの課題、業界のトレンド、今後の課題など、詳しく聞きたい。

## 演習1「保育所の評価についての振り返り」

### 大変良かった

- ・ためになった。学びになりました。理解を深められました。
- ・具体的でわかりやすかった。よく内容は理解できました。
- ・今までの保育所の調査のフリかえりにつながった。
- ・自分の振り返りができました。改善点も掘りおこす事ができました。
- ・振り返りや受審後の意見は大事です。せっかく受審して下さるので。
- ・長野県の評価についてのアンケート結果があって、大変参考になった。
- ・グループ分けがレベルに応じていたのがとてもよかったです。他の意見が為になった。
- ・実際に保育所の評価をしていたので、自己の反省にもなった。次に向けての自己研さんになった。
- ・アンケート結果の改善すべき点がよくわかり、評価者本人の質の向上が重要と今さらながら気づかされ、自信を無くした。
- ・保育所、職員に負担にならない調査、強み、弱みを把握し、気づきを促し、自信へ（質の向上）つながる調査方法が必要であると感じた。

### 良かった

- ・色々の保育園の実状が分かった。もう少し細詳に話し合わせ、方向がみえるとよい。
- ・実戦的な内容で良かった。質の向上につながる質問が大事。
- ・勉強不足でした。評価で、つよみ、弱み、気づきを引き出すということに気づきました。
- ・アンケート結果をじっくり皆で読む機会がもててよかったと思います。
- ・アンケート結果から、自分も課題と考えていることについて、いろいろな考えが出され、参考になった。（時間がやや短い）
- ・アンケートは初めての所は評価枚数と文書でとまどう。今後良い結果になれば良いなど思う事が出来た。
- ・保育所から見た意見「保育実践をみてほしい」今後の課題となる。専門性を求める意見が多く、今後の課題です。

### 良くなかった

- ・同じ文章が多く、ポイントを絞った方がよいか。
- ・経験の浅い方のグループだった為、自分の意図している学びはなかったです。中にも的外れな方がいて困りました。

### 無回答

- ・各意見に対し、岡田先生が答えてしまう方法は？全員で話し合わせた方が良い。（時間の関係もあると思いますが）一部だけを見た極論が意見として出ていると思う。

## 演習2「訪問調査前委の情報整理について」

### 大変良かった

- ・学びになりました。理解を深められました。
- ・訪問時の事前の整理が出来てよかった。事前分析の大切さがよくわかった。
- ・確認する着眼点が理解（整理）されました。具体的な話がきけてとてもよかった。
- ・イメージしやすく、何を目的とするかわかった。実践につながる取り組みで良かった。
- ・刑事のようにさぐる訓練をくりかえさないとならないと感じる。
- ・実戦的な内容で良かった。質の向上につながる質問が大事。
- ・事前に情報を整理して、質問を考えていく必要性を評価にあたり考えた。
- ・アドバイスの後の気づきができました。回答やアドバイスは文書でいただきたい。
- ・よりしぼりこまれた質問とシートを使うことで、質問内容が限定された有意義に活用していきたい。
- ・職員自己評価（職員用）については、長野県ではa. b. cの評価を求めている。是非、今後の検討を望みたい。
- ・初心者として、準備することの大切さを感じた。質問、資料、見てくることについて事前にしっかり考えてみようと思った。

### 良かった

- ・情報整理の段階が理解が出来た。良かったと思います。気づきになりました。
- ・評価すべき目的の把握と確認のポイントを整理する。
- ・評価業務に参加したので、掴み易くなったような気がする。
- ・事前情報が多い方が、当日子どもの姿を十分見ることができる。
- ・マニュアルにつながることで、新しい人への周知できること、学びました。（園の大切にしていること、特徴につながる）
- ・目的をしっかり理解し、それについての取り組みをヒアリングすれば、保育士でなくても評価できることがわかりました。

### 演習3「評価コメントのあり方」

#### 大変良かった

- ・表現が難しく参考になりました。コメントのあり方について学びました。
- ・文章を手短かにわかりやすくつくる訓練が必要。コメントの振り返りができた。
- ・新しい試みで、基本に戻って考えさせられた。着眼点を改めて意識していきたい。
- ・コメントで各評価機関や評価者で差があることがわかった。
- ・1つの事実に対する表現がさまざまでもって勉強になりました。
- ・講評のコメントはいつも頭を痛めていますが、わかりやすいワークとなりました。
- ・コメントは文章表現から考えていけば何度も演習していくことが必要だと思う。
- ・1事例に関して、5個のコメントのあり方について学んだことは、有意義でした。全体にせわしなかった感じでした。
- ・評価機関について。コメントの作り方、評価の仕方、評点の付け方等がバラバラと事実をみたが、保護者視点、受審者側が読む時の理解や満足につながっていくと感じた。
- ・本日意見がありました。施設に対し、調査者が「〇〇した方がよい」と言うような意見は言うてはいけないと思うのですが。あくまでも施設側の気づきに対して行うことが目的である為、目的が違ってきてしまうと思うのですが。いかがでしょうか？

#### 良かった

- ・評価機関での評価の仕方の統一が必要である。問題点がわかりやすくなりました。
- ・具体的に説明記入があった方がよい。
- ・初期のころ、中期、経験をすると共にコメント内容も変化すると感じた。
- ・それぞれの機関により、評価基準が微妙に違うことが分かり良かった。
- ・特に勉強になりました。各評価機関のバラつきがなくなればいいのと思います。
- ・ボリューム・わかりやすさ 事実ばかりにとらわれず、わかりやすさ、ほり下げ必要。
- ・調査者によって、ムラが出る部分であるので、もう少し時間をとった方が良かったと思います。
- ・例事として、このようなコメントはどうか示していただくとうれしいです。ポイントを学びたい。
- ・ある程度の方向性があるとよいと思う。評価機関にまかせるだけでなく、講師としてのアドバイスを求めたい。
- ・長野県の実態ですね。評価機関の質が問われます。同業者として疑問をものすごく感じます。どうしますか？対応策は評価機関としてしかできないのでしょうか？大変なことです。長野県として恥ずかしいですね。

### 研修共通内容意見

#### 大変良かった

- ・日々の振り返りができた。もう少し時間をかけて説明していただき良かった。
- ・救護、保育のみならず、定期的に学習する機会ありがたい。継続研修は2～3年に1回くらいにはできないか。
- ・グループワークで情報交換ができてよかったが、もう少し時間が欲しかった。又、新人とベテランと一緒にあったグループ分けをして欲しかった。

#### 良かった

- ・今回のグループは、同じレベル(?)経験の方たちだったので、活発に意見が出たような気がします。他の評価者の意見を聞いた。
- ・全体的に研修時間が短く、じっくり学ぶ場となっていない。説明が早い。次年度工夫していただければ幸いです。個人的には今年初めて保育所の評価をさせていただき、じっくり保育分野について研修させていただき良かった。コメント記載は参考になりました。

## 2 継続研修の開催日について

- |            |    |
|------------|----|
| ① 平日開催がよい  | 42 |
| ② 土曜日開催がよい | 12 |
| ③ 日曜日開催がよい | 2  |

## 3 継続研修の開催時期について

- |            |    |
|------------|----|
| ① 現在の時期でよい | 45 |
| ② 土曜日開催がよい | 11 |

自由意見 中旬がよい、月末はやめてほしい、調査が始まる前の5月、6月がよい  
6～7月頃。9～11月は行事や他の研修がく、外部評価研修も同時期なので  
11月頃、9月行事等で忙しいので10月頃。仕事の流れる的に11月がよい。

## 4 特に参考になった内容について(コメント別)

内容	人数	主な理由
講義1	4	
講義2	8	利用者の権利と実、支援の在り方等が参考になった
演習1	7	他評価機関の話が聞けて良かった、保育所評価が多いので、アンケート集計結果が現場の声を反映されており、今後の参考となる、
演習2	11	他評価機関の話が聞けて良かった、とても参考になった、着眼点がしっかり分かった、ワークシートを2段階で検討したのが良かった、事前調査の大切さがよく分かった
演習3	6	他評価機関の話が聞けて良かった、コメントのレベルが違いすぎる、スキルアップが必要、コメントについての先生の話が参考になった
全部	6	実務的でよかった、勉強になった、振り返りになった
その他意見		
<ul style="list-style-type: none"><li>・評価員としての大変さは日々感じています。評価料金を上げてもらえれば嬉しいです。</li><li>・グループが同じ経験年数の方々だったので、悩みが同じでよかった。具体的な話があった。</li><li>・グループメンバーの件数が同件の方々でしたので、話題や知りたい事が収穫でき、大変良かった。</li></ul>		



## 5 もう少し詳しく知りたい内容・時間をかけてほしい内容

- ・コメントの書き方について。評価内容を全域聞き取りはむずかしい。
- ・コメント作成のポイント 気づきのあるコメントとは？
- ・保育園の評価についてもっと知りたい。とにかくなんでも吸収したいと思います。
- ・グループワークの時間が平均短かったこと。今後の第三者評価の方向について。
- ・評価方法について、事例をあげ、教えていただきたい。
- ・事前分析の方法をもう少し時間をかけていただければ。
- ・訪問調査の目的や着眼点のとらえ方をもう少し知りたい。
- ・質問の時間は有意義でした。もっと皆さんの声を聞きたい。
- ・解説を各分野ごとにおねがいしたい。（保育所など）
- ・各専門領域の専門職からの詳しい業界の課題や法的位置を教えてください。
- ・コメント作成については大事な部分であるので、もう少し時間をかけて行った方が良いと思いました。
- ・保育所保育指針が変更になってから、園の保育内容が変更点が出たと思うので、具体的な取り扱い例を資料にして欲しい。
- ・評価を実施した上での良い点や改善点などの具体例を多く挙げてほしい。午後の演習が実際の評価で役立っているという実感が無い。
- ・評価の着眼点・観察のポイントについて、もう少し具体的なお話が聞きたい。結局どういふコメントの書き方が望ましいのかわからなかった。
- ・実際の評価、文章の書き方など。事業所の言うなりではなく、どうやって改善点を伝えていくのか。良いところを認め、うまくまとめる方法など聞きたかったです。

## 6 今後研修で扱ってほしいテーマや研修方法

- ・各項目の留意点等について。
- ・コメントの記入の仕方のポイント。「評価の書き方」を教えてください。
- ・保育園専門の講師によつての講演。保育のテーマを引き続きお願いしたい。
- ・コメント、a, b, cの評価をつけていく根拠について。
- ・文章の書き方、データの分析方法。国語の勉強、文章添削をしてほしい。
- ・もし、項目をまとめて質問できるとしたら、その方法やポイントが知りたい。
- ・指導者の訪問調査に同席させてほしい気持ちです。とても評価員として申し訳ない。
- ・実際に仕事をしてみないとよくわかりませんが、施設とのスケジュール調整や、説明の方法等についても教えていただきたい。
- ・実際のお手本を示してほしい。（正解はないかもしれないが、事業所からの高評価をうける評価者の見本を見たいです。テクニック？）
- ・評価者によって質が問われる部分であり、クレームの多い場所でもあるので、コメント力に関する研修に力を入れて頂きたいと思います。
- ・防犯マニュアル、園外保育（散歩等）についての評価をどこでしていくか、具体的に、方法、場所、遊びなど、最近そういった場面での問題が起きているので。
- ・評価機関ごとに報告書のまとめ部分が異なります。わかりにくい例、わかりやすい例など比較検討できるとありがたいです。→今回やったけれど、長野県も差が大きいですよね。もっとやって下さい。実態がわかったのでショックです。

## 7 その他

- ・合同庁舎での開催は地理的にも良かった。
- ・所属評価者のプロフィールは公表しないのか？
- ・考える時間が短くまとめる事が出来なかったです。
- ・長野県は、こういった救護施設をめざしていますか。
- ・評価コメントの標準化は県で作ってもらえませんか？コメントの書き方に差がある。
- ・外部評価研修との兼あいで、研修を企画していただければと思います。
- ・コメントを取り上げての研修が勉強になりました。自分の振り返りができました。
- ・経験を積むことが大切ですかね。他の評価機関でも良ければ同行研修を受けたい。
- ・研修しても、活動まで行かない事が残念です。評価される事業者が多くならないと・・・。
- ・研修についてではないが、東京方式・長野県方式での事業所からの苦情もあり、統一されたらよい。
- ・講師の先生は岡田先生以外にもお願いしたいです。いつも同じ講師ですと内容がマンネリ化します。
- ・経験によってグループを分けたのは、話易くて良かったです。グループワークも6人くらいが丁度良かった。
- ・今回のグループ分けは良かった。（回数少ないグループ）内容にもよるだろうが、今後こうした編成をお願いしたい。
- ・項目が多すぎるのではないか、という意見に対して、バスッと切られてしまいました。が、全く検討の余地はないのですか？
- ・毎年、研修を有料で受けているが、保育園などは極めて受審に消極的。仕事は続けられるのか（仕事があるのか）不安です。県の後押しは？
- ・評価にある程度マニュアルが欲しい。評価は行政で。望ましいでなく、その利点等を各施設へ行政で伝えて欲しいです。8割を評価して欲しい。
- ・会場はぜひ塩尻会場でお願いしたい。（合庁はトイレが少なく遠い！）「～終了書」の紙質がとんでもない（コピー用紙とは）私達調査者は名刺がわりに持って行きます。
- ・評価機関によって、評価の差が違い過ぎる。意見交換が出来て良かった。評価委員も高齢化となり、5年、10年後はどうなるか心配です。事務局の方の積極性で今後が楽しみです。
- ・ベテランの方と新人の方との研修内容がそれぞれに合わせたものになると良いと思いますが、今まで受任がないので、継続研修に出るだけです。毎年行われることは必要でしょうか？
- ・調査者一人一人の評価の目的が、全く違っている人もいらっしゃると思いますが、その辺、今後県として、どのような方向に進めていくのでしょうか。今日の研修に参加をありがとうございました。
- ・ホントに国語力をつけないと相手に失礼。～である。また～であった。この結果～であり、～となることが望まれる。～ということが期待できる。という結論がないのはナゼ。（接続詞がいるでしょ）
- ・長野県で実施されている方法が、県独自の物であることがこのままでよいのか、是非検討してほしい。第三者評価の存続について、調査員の労力と頂く金額。今後調査員を継続していくのか、このままでは厳しいと感じている。
- ・評価項目もほとんど理解できておらず、恥ずかしいです。昨年、評価に伺った施設で障害者にけられ、3ヶ月間整形外科に通院しました。トラウマも出現したほどです。会社担当者にも話してもなかなか思いをきいてもらえず・・・ウツウツしてました。
- ・グループでの日頃の調査、どのように行なっているのかの（議題を通して）意見交換よかったです。推進委員に現場の調査員及び事業主も入っているのでしょうか。推進委員の方は実際に調査員がどのように調査し、何に悩んでいるのか理解しているんですかね。



・県の事業者説明会（集団指導）8月21日松本に参加しました。その中での第三者評価についての説明があまりに簡単なもので驚きました。この説明会で話している内容と、県障害支援課は連携していないのでしょうか。消極的としか言いようがありません。第三者評価の未来はあるのでしょうか。県としてのバックアップ体制など、検討いただけるとありがたいです。

・とある評価者は講師ですか？とてもえらそうなんですが。岡田先生に対して失礼だと思う。今回の演習での岡田先生のご指摘を、ガイドラインの評価の留意点を読めばわかるように書いてほしい。（そのようなガイドラインがほしい）もしアンケートをとっていただけるようでしたら、評価機関に返信するのではなく、県に直接返せるような方法でお願いしたいです。

・内容評価項目 A-1- (2) ①

A

B なし

C

職員用にCはなしの文章を除外したらどうか。職員が意味わからない。